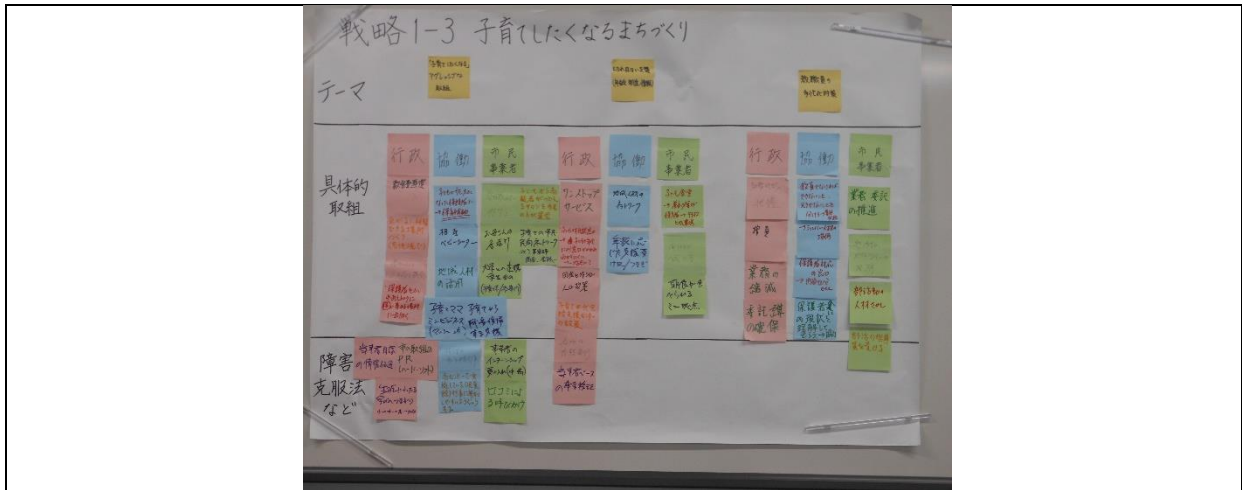


総合計画審議会委員と職員による意見交換会結果

戦略1-3 子育てしたくなるまちづくり 《チーム1》 令和元年7月5日



■「子育てしたくなる」アグレッシブな取組

【具体的な取組】

○行政

- ・教育費無償
- ・気軽に相談できる場所づくり（各地域で）
- ・赤ちゃんと触れ合う機会
- ・保護者と触れ合うように保護者が集まる場所へ出向く

○協働

- ・子どもが少し大きくなった保護者へ→保育補助
- ・相互ベビーシッター
- ・地域人材の活用
- ・子育てママ、ミニビジネス（マルシェ等）
- ・子育てから職場復帰する支援

○市民・事業者

- ・雰囲気の良いカフェ
- ・子どもから高齢者が集えるサロンを市民の方が運営
- ・お母さんの居場所
- ・子育ての市民・民間ネットワーク（ex. 美容師、商店、金融）

【障害・克服法など】

○行政

- ・当事者目線の情報伝達
- ・市の取組みのPR（ソフト・ハード）
- ・生涯にわたる学びのつながり

○協働

- ・子育て中の親子対象行事
- ・各センターで実施している事業に参加しやすくする工夫
- 市民・事業者
- ・事業者のインターンシップ受入（中・高）

- ・口コミによる呼びかけ

■切れ目のない支援（年齢、制度、情報）

【具体的な取組】

○行政

- ・ワンストップサービス
- ・子どもの相談窓口→子どもの年齢により窓口が変わるためわかりにくい→一括窓口
- ・団塊を作らない人口政策
- ・子育て世代包括支援センターの設置
- ・適切な情報発信
- ・当事者ベースの事業検証

○協働

- ・地域人材のネットワーク
- ・年齢に応じた支援・受け皿・つながり

○市民・事業者

- ・子ども食堂→養育必要な保護者→行政との連携
- ・市HPで調べる

- ・朝食が食べられるミニ拠点

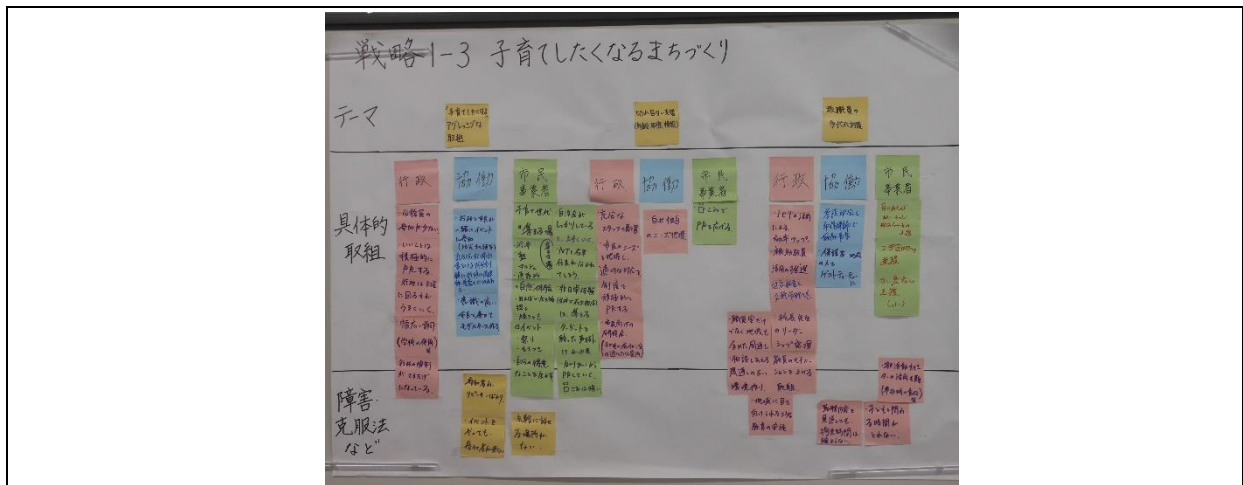
■教職員の多忙化対策

【具体的な取組】

○行政

- ・勤務時間の把握

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・増員・業務の縮減・委託予算の確保○協働<ul style="list-style-type: none">・教員でないとできないこととそうでないことを分ける→事務分担→シルバー人材の活用・保護者対応窓口→内容区分 etc・保護者に現状を理解してもらおう→協力○市民・事業者<ul style="list-style-type: none">・業務委託の推進・部活動ガイドラインの理解・部活動の人材探し・部活の指導員を受ける | |
|---|--|



■「子育てしたくなる」アグレッシブな取組

【具体的な取組】

○行政

- ・公務員の参加が少ない
- ・いいことは積極的にPRする
- ・行政は支援に回る方がうまくいく
- ・幅広い許可（学校の使用等）
- ・行政の規制が妨げになっている。

○協働

- ・行政と市民と一緒にイベントに参加（防災訓練等）

- ・乳幼児妊婦対象となる防災訓練に行政の保健師、栄養士が関わる

- ・意識の高い市民を集めてモデルケースを作る

○市民・事業者

- ・子育て世代の集まる場（行事、塾、マルシェ、直売所等）を作る

- ・自然体験（田んぼで生き物探し、焼き芋）

- ・イベント（祭り、餅つき）
- ・自分の得意なことを活かす。

- ・自治会がしっかりしているとうまくいく。

- ・NTと在来住民が分かれてしまう。
- ・非日常体験（学校で花火、宿泊）は集まる。

- ・ターゲットを絞った声掛けが必要

- ・知り合いからPRしていく（口コミは強い）

【障害・克服法など】

- ・参加者がリピータばかり
- ・イベントをやっても参加者が来ない
- ・気軽に話せる場所がない

■切れ目のない支援（年齢、制度、情報）

【具体的な取組】

○行政

- ・十分なスタッフの配置
- ・市民ニーズを把握し、適切な対応を
- ・制度を積極的にPRする
- ・市民向け研修会（子どもの病状ごとの適切な案内）

- ・白井独自のニーズの把握

○市民・事業者

- ・口コミでPRをひろげる

■教職員の多忙化対策

【具体的な取組】

○行政

- ・ICT活用による効率アップ
- ・補助教員活用の推進
- ・健康経営を文科分野へも
- ・職員室だけでなく地域も含めた風通し
- ・校長先生のリーダーシップ発揮
- ・相談しあえる風通しの良い環境づくり
- ・教員のモチベーションをあげる取組
- ・地域に目を向けられるような教育の実施

○協働

- ・養護部会と市保健師で協働事業

・保護者・地域の人をゲストティーチャーに

○市民・事業者

・昔の遊び（おじいちゃん、おばあちゃんとの連携）

・工業団地との連携

・なし農家との連携

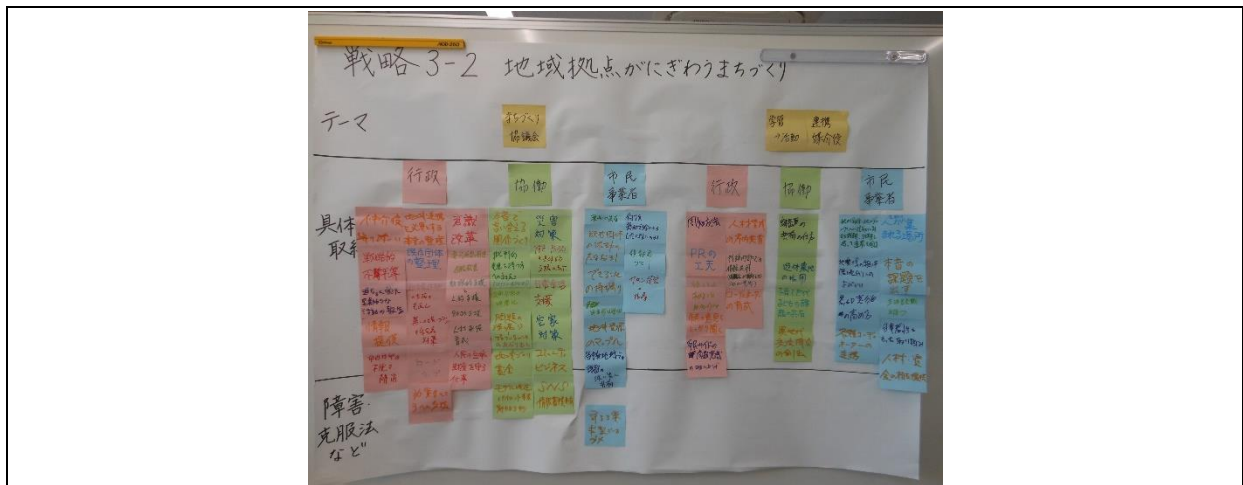
【障害・克服法など】

○行政

・勤務内容を見直しても拘束時間は縮まらない

・部活動サポーターの活用も難しい（事故時の責任等）

・子どもと関わる時間が取れない



■まちづくり協議会

【具体的な取組】

○行政

- ・ 仲介役、寄り添い
- ・ 地域連携を必要とする事業の整理
- ・ 意識改革
- ・ 戦略的不平等
- ・ 既存団体の整理
- ・ 専用施設の提供（余裕教室）
- ・ 進捗状況、定期的な活動状況の報告
- ・ 自治会活動の支援の見直し
- ・ 戦略的支援と人的支援、財政支援
- ・ 人材発掘・育成
- ・ 集いの場づくりの高齢者対策
- ・ 情報提供
- ・ 市内移動の不便さ解消
- ・ ロードマップ
- ・ 人民の生命、財産を守る仕事
- ・ 必要などころへの支援

○協働

- ・ 本音で言い合える環境づくり
- ・ 災害対策
- ・ 批判的意見を持つ方への対応
- ・ 防災・防犯の具体的支援の表示
- ・ 役割分担の明確化
- ・ 日常生活支援
- ・ 問題の深堀→出来ていないことの洗い出し

・ 空き家対策

・ 地域づくり基金

- ・ コミュニティビジネス

- ・ モデル地区・パイロット事業、魅力ある形

- ・ SNS、情報集積共有

○市民・事業者

- ・ 現状の共有
- ・ 何故参加できないのか、したくないのか

- ・ 既存団体の活動の棚卸

- ・ 後継者づくり

- ・ 出来ることの持ち寄り

- ・ サロン運営の指導

- ・ 自由的な参加

- ・ 地域資源のマップ化

- ・ 当該地域での課題の洗い出し、共有

【障害・克服法など】

○市民・事業者

- ・ 単なる要求型ではダメ

■学習→活動、連携、媒介役

【具体的な取組】

○行政

- ・ 周知方法

- ・ 人材育成の庁内共有

- ・ PRの工夫

- ・ 行政内部での情報共有（講座や講師の人材一覧など）

- ・ 市民にもっと求めること、助けを乞うこと

- ・ コーディネーターの育成

- ・ 市民の意見をしっかり聞く

- ・ 市民サイドの問題意識の吸い上げ

○協働

- ・ 課題の共有のしかた

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 遊休農地の活用・ 子育て世代、子どもの課題の共有・ 世代間交流の機会の創出○ 市民・事業者<ul style="list-style-type: none">・ 他の団体・グループの活動に対する理解、理解しあって連携を図る・ 気軽に人が集まれる場所・ 地域の担い手（若い世代）への呼びかけ・ 本音の課題を出す・ 参加意欲の高め方・ 当事者意識を持つ・ 各種コーディネーターの連携・ 当事者性をもった取組・ 人材・資金の相互提供 | |
|--|--|



■まちづくり協議会

【具体的な取組】

○行政

- ・市の方針を明確に
- ・メリットの説明
- ・方針から広げていく
- ・市民に分かりやすい説明
- ・押しつけ感をなくす
- ・キーマンを探す
- ・イラスト
- ・広報誌の発行

○協働

- ・目指すことの共有
- ・互いの状況を理解しあう
- ・到着点（3～5年）の共有
- ・ホームページ
- ・住民みんなのものという意識
- ・取組・情報をフィードバック
- ・情報交流

○市民・事業者

- ・商店も関わる
- ・公民館を巻き込む
- ・市民サークルの参画
- ・協力意識
- ・関心を持った人は参加する
- ・住民からの盛り上がりが必要
- ・継続して活動に関わる
- ・地域組織の横のまとまり

【障害・克服法など】

○行政

・分野間の調整

・同期のつながり

■学習→活動、連携、媒介役

【具体的な取組】

○行政

- ・パパ・ママ対象の講座
- ・学びからまちづくりへ
- ・専門特化した人材養成
- ・職員も市民と一緒に講座を受ける
- ・働く人を意識したまちづくり
- ・社会企業家の養成

○協働

- ・教育委員会と市長部局の協働

○市民・事業者

- ・事業者等も参加した研修
- ・集会所の有効活用